

「日本後紀」の世界

講師：日本皇學館大学教授 荊木 美行

『日本後紀』は、『続日本紀』の後をうけて、桓武天皇の治世の途中から、平城、嵯峨、淳和天皇の治世をしるした歴史書です。もとは40巻でしたが、その後散逸し、江戸時代に塙保己一の門人稲山行教が10巻分の写本を発見し、これを刊行してから一般に知られるようになりました。現存分は巻5・8・12・13（桓武）、14・17（平城）、20・21・22・24（嵯峨）の10巻で、淳和天皇の代は存在しません。



ただし、六国史の記事を分類・整理した『類聚国史』や六国史を抄出した『日本紀略』によって一部が復元可能です。こんにちでは、『訳注日本史料 日本後紀』や講談社学術文庫本『日本後紀』によって、『日本後紀』はきわめて身近な史料となっています。この講座では、『日本後紀』を原文で読みながら、平安時代の実像に迫りたいと思います。

日時：第1土曜 7/5、8/2、9/20（9/6の振替）

受講料：3カ月3回 5,980円

教材費：560円

* 新入会の方は入会金4,200円が必要です。

お申し込み・お問い合わせは...

(栄教室)名古屋市中区栄3-4-5 スカイル10階

052-249-5553

 朝日カルチャーセンター

020033